

社会常識でわかる 投資の基本



東京会場
JAビル カンファレンスセンター
 3階 302
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
 - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線 大手町駅下車 C2b出口
 - ◎地下鉄東西線 竹橋駅下車4番出口
- お車でのアクセス
 首都高速道路：神田橋インターチェンジをご利用ください



名古屋会場
ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1
 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
 - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
- 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



大阪会場
ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8
 TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
 - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線 (JR) 大阪駅下車徒歩2分
 - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
 - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
 - ◎24時間営業
 - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

お申し込み方法

右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からのお申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

こちらからお申し込み下さい

- ① <https://www.fromhc.com>
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「fromHC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

HCアセットマネジメント株式会社

一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会加入
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11 Tel.03-6685-0681 Fax.03-6685-0686

4/14 (火) 東京
 15:00~17:30 (開場14:30)
 会場: JAビル カンファレンスセンター 3階 302
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL: 03-3212-1912(代)

4/20 (月) 名古屋
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場: ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL: 052-527-8500

4/21 (火) 大阪
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場: ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

[人+産業金融=成長]
 成長を支える投資の原点へ



Seminar
2020

ご挨拶に代えて

投資から投機を駆逐するために(2019.10.17)

『森本紀行はこう見る <https://www.fromhc.com/column/>』より

fromHC 検索

投資というのは、ある対象に資金を投じたとき、その対象に内在する価値が時間をかけて実現していく過程のなかで、投じられた資金が増殖していくことですから、本質的に長期のものです。ところが、資本市場で取引される株式や債券の場合には、需給関係で価格が形成されるのであって、その価格は、長期的には価値の変化を反映するにしても、短期的には価値から大きく乖離し得るのですから、短期保有で売却して利益を得ようとするのは、価値の増殖を目的とした投資ではなくて、価格変動の機微をつくことを目的とした投機なのです。

本来の投資の意義を明確にするためには、それを端的に投資と呼び、短期的な価格変動を狙う行為は、投資ではないとして投機と呼び、投資の世界の外へ放逐したほうがいいのです。

また、投資目的の人にとって、短期的な価格変動としてのリスクは、付随するが故に受け入れざるを得ないものとして、消極的に、受動的にとられるものです。不確実性の尺度として、短期的な価格変動を用いることは、他に客観的に測定可能な指標もないことから、非常に便利なものとして、定着しています。しかし、いつしか、価格変動が本源的な不確実性の尺度にすぎないことが忘れられ、価格変動としてのリスクをとることが投資の本質ようになってしまっています。

そもそも、投資とは、産業活動に必要な資金を投じることであり、その活動が生み出す付加価値の一部を投資収益として回収するものです。従って、産業活動を通じて経済が名目的に成長している限り、投資は収益を生むのです。そのように投資をとらえ、そして、日本の現実をみると、国際分散投資の意義は簡単に理解されるはずですが。

講師：森本紀行

講演内容

日常的な言葉で、常識的な論理で、資産運用を語ろうというのは、ひとつには、そのほうが自分自身に対して理解しやすいからですが、もうひとつには、そのほうが資産運用の専門家でない他人に対して説明しやすく、説明が受け入れられやすいからです。

資産運用の担当者にとって、自分自身が資産運用を理解していることは重要ですが、それ以上に、全く資産運用の知識をもたない関係者に対して、資産運用を説明し理解してもらえることが重要です。

これまで簡単に使っていた片仮名の意味を徹底的に再検討し、対応する日常的な日本語を厳選する努力をしていくことで、十分に理解できていなかった専門用語の理解が深まり、資産運用の本当の意味がみえてくるはずですが。

また、投資というと、何か特別な技能によって上手にお金儲けをすることだ、というふうになってしまう人も多いでしょう。とんでもないことです。投資とは、銀行融資と同じように、金融の仕組みにすぎません。企業や政府などの資金調達の一環として資金供給するのが、投資の役割です。

株式といい債券といい、それを発行した企業や政府からみれば資金調達の道具であり、それを取得する投資家の立場からみれば投資対象なのです。であれば、資産運用は企業の財務行動の反対側にあるにすぎないのですから、その資産運用を理解できない企業人などあり得ないことがわかるでしょう。そのように、資産運用を企業経営の常識のなかに再構築してみましょう。

講演項目

●資産運用の高度化

- ◎ ガバナンス改革
- ◎ 好循環

●投資の本質

- ◎ 投資の世界の古い格言
- ◎ 乳牛と牛乳についての古い格言
- ◎ 資産運用の四つの原則



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

森本紀行

三井生命(現大樹生命)のファンドマネジャーを経て、1990年1月ワイアット(現ウィリス・タワーズワトソン)に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。